

つきたい力

- ・目的に応じて、文章や複数の資料から必要な情報を見極める力
- ・取捨選択した情報をもとに、根拠をもって自分の考えを表現し伝え合う力
- ・日常的に文章にふれ、様々な事象に興味をもち、知識を得ることを喜びとする力

取組みの概要・ポイント

- ・学んだことを他の教科へ広げ、連続した学びとなるような単元計画の策定
- ・「思考ツール」を活用した情報整理・分析の研究
- ・府立、市立図書館と連携し、並行読書等の充実や調べる学習コンクールへの参加



学校HP

学校図書館を活用した授業づくり

①教科を横断した学びを意識した授業づくり

調べ学習を通して多くの情報を収集、複数の教科を横断した単元計画、授業づくり研究を行う。



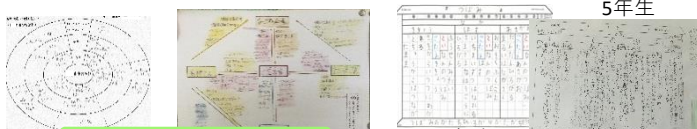
総合的な学習の時間「阪神淡路大震災について」→道徳「ネコの手ボランティア」

【司書との連携】

- ▶年間計画の作成
- ▶市立・府立図書館貸出・資料収集
- ▶百科事典の使い方支援...など

②情報の整理・分析力の育成

「思考ツール」を活用し得た情報を必要な項目に分ける。



学習内容に応じ使い分ける

5年生

1年生

説明文の家

【系統立てた指導】

学年間連携を深め、系統立てた指導ができるよう外部講師を招聘し、指導案づくりから見直しを図る。

③自分の考えを書く・伝えるなど表現力の育成

思考ツールの活用など学んだことを生かし、自分の考えを表現したり、自分の考えの根拠を示しながらの交流を行ったりすることで考えを深め合い学びにつなげる。



ビブリアバトル

街づくり提案

読書活動の充実

【蔵書・配架の工夫】

市立図書館を利用し本に親しむ機会の更なる増加、授業と学校図書館を意図的に繋げることで来室状況の改善



- ▶団体貸出の定期的な利用
- ▶単元に関連した並行読書の実施

- ▶季節・授業に合った資料展示

【場の工夫】

新聞の掲示も興味ある項目ごとに分け、関連図書を紹介



【児童・教職員と連携した取組み】

児童の主体性を重点に、短いスパンで取組みを更新することで他の児童が興味・関心を持つことができるように発信を行う。



- ▶児童、教職員によるおすすめ本の紹介

- ▶20分休みを利用した紙芝居

- ▶集会での読書啓発プレゼンテーション

【学びあう子ども】

他者の調べた作品を展示することで、学びの共有を図る。



- ▶市立図書館との連携による調べる学習コンクールの作品

取組みを通しての子どもの変容

- 調べ学習を通して自分で調べることの楽しさを知り、自ら知りたいことを調べる児童が増加した。
- 「調べる」ことや思考ツールを使って情報を整理することに慣れてきた姿が、どの学年でも見られるようになった。
- 学校図書館に来室する児童が増え、読みたい本を探し、読書する児童が増えた。
- 得られた情報をもとに自分の考えをまとめ、友だちと深め合う姿が多くみられるようになった。
- 自分の考えを積極的に表現しようとする姿が多くみられるようになった。

令和6年度のアンケートより

	4月	12月
わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットなどで調べている。	84%	85%
本やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている。	81%	82%
学校図書館での学習や、本や資料を使って調べることは楽しい。	81%	82%